

## 後期スケジュール 2017年10月～2018年2月

※各講座の詳細・最新情報についてはホームページをチェック! <http://akibi-plus.jp>

- ☆ … 受講生対象講座
- ★ … 公開講座 (どなたでもご参加いただけます)

### BASE 1 秋田

- ① アキビプラストーク
- ② 秋田芸術新聞編集部員ゼミナール

①では、初年度にローカルメディアと協働して行われた事業をまとめたアートマネジメントのテキストブック『辺境芸術最前線』を端緒として、広くさまざまな角度から市民に向けた辺境芸術マネジメント講座を開催。②では、出来事の感想や印象を表現できるだけではなく、客観的な視点から情報を文章にまとめる「報道記事」の作成技術を身につけます。物事の本質を捕えようとする取材から執筆まで一連の作業を通じて、伝達情報力を高めることができるようになるだけではなく、さまざまな事業において内容に過不足を起さない「企画力」を高めます。

【担当教員】岩井 成昭 【企画運営】蛭間 友里恵 (秋田公立美術大学大学院生)  
【地域アドバイザー・講師】千葉 尚志 (秋田経済新聞編集長／(株)イースナーデザイン代表取締役)

託児つき  
(要事前予約)

### ★ 10/7 (土)

#### ①アキビプラストーク「子育て視点は芸術家の視点!？」

【形式】公開シンポジウム 【講師】相馬 千秋 (NPO 法人芸術公社代表理事／アートプロデューサー／立教大学映像身体学科特任准教授) / イシワタ マリ (美術家／山山アートセンター代表) 【場所】フォンテ AKITA 美大サテライトセンター (秋田市中通 2-8-1 6F) 【定員】50名 【時間】14:30～17:00 (14:00 開場) 【託児の事前予約】TEL 018-888-8478 (AKIBI plus 事務局) ※9/21 締切

### ★ 2018年 2/3 (土)

#### ①アキビプラストーク「着想の交換～行動と批評と仲間探し」

【形式】公開シンポジウム 【講師】住友 文彦 (アーツ前橋館長／キュレーター) ほか 【場所】秋田公立美術大学大学院棟 1F 【定員】50名 【時間】14:30～17:00

### ★ 2018年 2/4 (日)

#### ①アキビプラストーク「クロージングイベント／4拠点報告会」

【形式】公開シンポジウム 【講師】芸術価値創造拠点 各地域のアドバイザー (秋田／男鹿／五城目／横手) 【場所】秋田公立美術大学大学院棟 1F 【定員】50名 【時間】14:30～17:00

### ☆ 開講中 (受講者の応募は締め切りました)

#### ②秋田芸術新聞編集部員ゼミナール

【形式】講座 【講師】千葉 尚志 (秋田経済新聞編集長／(株)イースナーデザイン代表取締役)  
【場所】(株)イースナーデザイン 【内容】1. 概論 2. プレスリリースの作成 3. 記事作成の基本 4. 公開講座への参加 5. リリースを基に記事作成 6. 写真撮影の基本と実践 7. 取材の仕方と実践 8. 7. の記事を基に相互評価

### BASE 2 男鹿

## ショートレジデンスプログラム「神々と生きる島を探る in 男鹿」準備講座&実践講座

平成 28 年度に開催した「ショートレジデンスプログラム準備講座」をもとに、フィールドワークや滞在体験のプログラム整備を継続。「準備講座」そして年度の後期には、芸術家の川村亘平斎氏 (ガムラン奏者 / 影絵師 / イラストレーター) を招聘して、滞在制作を行います。「実践講座」準備と実践、この二つの講座を通して新たな価値を見出すとともに、イマとムカシをつなぐツールとして、その土地の伝承を使った影絵の物語をつくるなど、コレカラの「新たな芸能のカタチ」を考え、発信します。

【担当教員】山内 貴博 / 井上 豪 / 荻原 千尋 / 土方 大  
【地域アドバイザー・企画運営】猿田 真 (里山のカフェににぎ主宰) 【協力】大谷 心 (男鹿市地域おこし協力隊)

### ☆ 10/21 (土)

#### 「男鹿の日常を探る～男鹿日常体験フィールドワーク～」

【形式】フィールドワーク 【場所】里山のカフェににぎとその周辺 【内容】里暮らしの冬支度 (冬～春の暮らしについて考察、薪割り等の農業体験を予定 ※昼食 1,500 円実費支払 【時間】10:00～16:00

### ☆ 11/11 (土)

#### 「オガるミーティング」

【形式】フィールドワーク 【場所】秋田公立美術大学大学院棟 2F 会議室 【内容】これまでのフィールドワークを振り返り、ショートレジデンスのプログラムを考える 【時間】13:00～18:00

### ★ 2018年 1/9 (火)～20 (土)

#### 川村亘平斎 男鹿半島ショートレジデンス「真冬の男鹿に滞在す」

【招聘アーティスト】川村亘平斎 (音楽家／影絵師／イラストレーター) 【滞在制作】里山のカフェににぎ

### ★ 2018年 1/9 (火)

#### キックオフトーク「年の始まり、物語の始まり(仮)」

【形式】公開シンポジウム 【場所】秋田公立美術大学 【講師】川村亘平斎 【時間】15:00～17:00

### ★ 2018年 1/20 (土)

#### 成果発表「マツリ・イノリ・オドリ テ 来タリ(仮)」

【形式】公演 (影絵作品) 【場所】秋田公立美術大学 【講師】川村亘平斎 【時間】14:00～17:00

詳細は後日発表

### ★ 2018年 2月

#### 展示発表 in 男鹿半島「半島のクロニクル～影絵の物語上映&作品展示～」

【場所】第 1 会場：温泉旅館ゆもと (男鹿市北浦湯本字福の沢 36)、第 2 会場：里山のカフェににぎ (男鹿市 北浦真山塞ノ神下 14)

### 受講者募集中!! < 10/13 まで >

### BASE 3 五城目

## 今と昔を繋ぐアート

五城目では、身近な「芸術資源」を身近な手法で引き出し、異なる観点や思考を共有します。見つけ、ゆさぶり、つくる… 昨年度は予め設定したお題を「見つける」取り組みだったのに対し、今年度は見つけたものを「ゆさぶる」。ローカルな学校行事、500 年続朝市、名産秋田杉、町の人々に親しまれ、伝統を背負ったレガシーをあえて「見慣れぬもの」として捉え直します。さらに、地域に潜む既存の価値を問い直し、主体性をもって価値を「つくる」ことを、町の指定文化財を素材に考えます。

【担当教員】秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻教員 【地域アドバイザー・企画運営】柳澤 龍 (シェアビレッジ御庭番)  
【地域アドバイザー】小熊 隆博 (ものかたり代表) 【協力】yukariRo (編集ユニット)

### ☆ 9/30 (土)

#### 島山鶴松の落書きく 見つける、記録する

【形式】シンポジウム・フィールドワーク 【講師】小松 和彦 (小松クラフトスペース代表)、服部 浩之 (キュレーター／秋田公立美術大学准教授)、石倉 敏明 (人類学者／秋田公立美術大学准教授) 【場所】ものかたりほか 【時間】9:00～15:00

### ☆ 10/14 (土)

#### 大人のなべっこ遠足く ゆさぶる、つなぐ

【形式】フィールドワーク 【講師】北島 弘宇 (北宇商店店主)、石倉 敏明 (人類学者／秋田公立美術大学准教授) 【場所】五城目町内 【時間】9:00～15:00 (きのご祭り前日)

### ☆ 10/22 (日)

#### 「小さな問題」から捉える朝市く ゆさぶる

【形式】シンポジウム・フィールドワーク 【講師】北原 和規 (UMMM 代表)、佐藤 稔 (秋田大学名誉教授)、山本 太郎 (ニッポン画家／秋田公立美術大学准教授) 【場所】五城目朝市ほか 【時間】9:00～15:00

### ☆ 11/5 (日)

#### 森を学び、木を食べるく ゆさぶる

【形式】フィールドワーク 【講師】三浦 豊 (森の案内人)、皆川 嘉博 (彫刻家／秋田公立美術大学准教授) 【場所】五城目町内 【時間】9:00～15:00

### ☆ 11/11 (土)

#### 五城目を博物館に見立てるならく 価値をつくる

【形式】フィールドワーク 【講師】浅利 絵里子 (秋田県立博物館学芸員)、藤 浩志 (美術家／秋田公立美術大学副学長) 【場所】五城目町内 【時間】9:00～15:00

### ★ 12月

#### 「プロジェクトの成果発表」

【場所】ものかたり (南秋田郡五城目町字上町 39)

### BASE 4 横手

## エリアブリュワー「地域醸造家」の育成

発酵のまち横手が舞台。いま注目されている発酵は、大豆や米などが菌と触れ合い、酒や味噌などへと変容する現象です。醸造家は元となる食品や菌、温度や湿度、場所などを組み合わせながら、元とは異なるものを作り上げます。そこに着想を得て、地域の様々な資源、因子などを発見し、掛け合わせて新たなものへと変容させる人材を「エリアブリュワー：地域醸造家」と名付けることにしました。講座を通じて「地域醸造家」とは何かと仮説立て、新たな地域づくりの考え方を提唱していきます。

【担当教員】田村 剛 【地域アドバイザー・企画運営】永沢 碧衣 (絵画作家)  
【地域アドバイザー】阿部 円香 (Hostel & Bar CAMOSIBA 主宰)

### ★ 9/23 (土・祝)

#### シンポジウム「地域醸造家とは何か」

【形式】公開シンポジウム 【講師】森谷 康市 (浅舞酒造社氏)、高橋 基 (デリカテッセン紅玉代表)、今野 満寿喜 (ラムヤート代表)、谷 亮治 (社会学者)、平元 美沙緒 (まちづくりファシリテーター) 【場所】横手市十文字文化センター (横手市十文字町字西上 38-1) 【定員】50名 【時間】9:30～17:00 【内容】1. パネルディスカッション「地域醸造家って何だろう?」 2. 発酵食ランチ (デリカテッセン紅玉と CAMOSIBA のコラボによる発酵食を中心とした地域産品のランチを来場者全員でいただきます) 1,000 円 ※実費支払 3. ワークショップ「地域醸造家」を定義する 【参加申込締切】9/19

### ☆ 10/8 (日)

#### ワークショップ&フィールドワーク「地域の因子を採取する」

【形式】ワークショップ・フィールドワーク 【講師】大澤 寅雄 (文化政策マネジメント)、平元 美沙緒 【場所】CAMOSIBA (横手市十文字町曙町 7-3) 【時間】10:00～16:00

### ☆ 10/29 (日)

#### ワークショップ「地域の因子の潜在力を見出し、掛け合わせ、変容させる」

【形式】ワークショップ 【講師】平元 美沙緒 【場所】CAMOSIBA ほか 【時間】10:00～16:00

### ☆ 11/12 (日)

#### 制作「変容を実現する」

【形式】制作 【担当】永沢 碧衣 (絵画作家) 【場所】CAMOSIBA 【時間】10:00～16:00 【内容】本プログラムを通じた学びを、受講生が各々のアプローチで表現制作する

### ★ 11/19 (日)～12/10 (日)

#### 展示会「“醸”を展示する(仮)」

【形式】展示 【担当】永沢 碧衣 【期間・場所】①11/19(日)～11/26(日)CAMOSIBA (十文字)、②11/26(日)～12/3(日)こうじ庵 (旧横手市内) ③12/3 ((日)～12/10 (日) おおもり赤レンガ館 KURA (大森町)

### 受講者募集中!! < 10/4 まで >

それぞれのプログラムの詳細や、最新情報については AKIBIplus ホームページ、Facebook、チラシ等でお知らせします。主催：文化庁 / 公立大学法人 秋田公立美術大学